

令和5年度第6回学長選考・監察会議〈議事要録〉

日 時 令和5年10月6日(火) 14:00～15:30

場 所 本部棟5階 大会議室(対面及びオンライン)

出席者: 大西議長, 久保田委員, 高塩委員, 谷口委員, 三輪委員,
丸橋委員(法文学部長), 河添委員(教育学部長), 磯村委員(人間科学部長), 石
原委員(医学部長), 伊藤委員(総合理工学部長), 上野委員(生物資源科学部長)

欠席者: 秦委員

オブザーバー: 千家監事

陪席者: 藤田理事, 藤波理事, 総務部長, 総務課長, 総務課課長補佐

議決事項1. 学長候補適任者の審査等について

議長及び事務局から, 学長候補適任者の推薦について, 2つの推薦母体から1名(同一人)の学長候補適任者の推薦があったとの報告があり, それぞれの推薦書類について説明があった。

推薦書類に基づき審査を行い, 大谷 浩氏が学長候補適任者として選考された。

議長から, 学長候補適任者の諾否については同意書をもって「諾」と確認したものとすると説明があった。

続いて, 議長から学長候補適任者の決定通知及び学長候補者選考日のスケジュールについて説明があり, 審議の結果, 原案通り議決された。

議決事項2. 学内意向調査の公示及び通知について

議長及び事務局から, 学内意向調査の公示及び通知について資料に基づき説明があった。

委員から, 学内意向調査の実施に係る説明資料内に, 学内意向調査の実施の趣旨が分かる表現を明記した方が良いのではないかと意見があり, 審議の結果, 説明資料内の記載を一部修正することとして議決された。

議決事項3. 所信表明会の実施について

議長及び事務局から, 所信表明会の実施について資料に基づき説明があった。

委員から, 学長候補適任者が支持を集めるために大学構成員に対してアプローチするなどの活動が行われることがあるが, そのような活動に対して本会議として制限を設けることはあるのか, また, 本会議の学内委員は当該活動とは距離を置くべきと考えるかとの質問があった。

議長から, 学内意向調査に際しては学内意向調査心得に留意事項を記載しておりその内容に従っていただくが, 学長選考に伴い行われるその他の活動については, 基本的には大学構成員の良識に任せることになると考えるとの発言があった。続けて議長から, 今後, 学長選考に関連して問題とすべき事柄が発生した場合には本会議において対応することとするとの発言があった。

所信表明会の実施については, 審議の結果, 原案通り議決された。

議決事項 1. 法文学部同窓会会長からの意見について

議長及び事務局から、法文学部同窓会会長からの意見について資料に基づき報告があった。

委員から、意見の一つである推薦期間の長さが適切かどうかについては学長選考後に行われる総括の中で取り上げていただきたいとの発言があった。

議長から、学長候補適任者の推薦資格を有する者に島根大学の卒業生が加わったことが周知されれば推薦に向けて事前に準備することも可能であると考えるが、推薦期間については学長選考後に改めて議論したいとの発言があった。

委員から、法文学部同窓会会長からの意見全体に対してどのように対応するのか決めておくべきではないかとの意見があった。

議長から、意見の内容は今年度行う学長選考プロセスに直接影響するものではないため、本日は委員間での共有にとどめ、対応については学長選考後に議論を行うこととしたいとの発言があった。

○その他

事務局から、本日選考された学長候補適任者の情報は10月10日に公示予定であり、それより前には公表しないため、引き続き情報の取扱いにはご注意くださいよう依頼があった。